

2008年度 第7回常任幹事会 議事録

担当者の出席の関係で議題の順番を変えて進行を始めることとした。

●日時
2009年1月31日(土)
15:00~17:00

●場所
阿佐ヶ谷美術専門学校内

●出席者
秋元圭一〔会長〕
三好耕之〔常任〕
西田一成〔常任〕
渡部征明〔常任〕
大村政幸〔常任〕
松岡和彦〔常任〕
小山弘〔常任〕
勝山昌幸〔常任〕
富澤和治〔常任〕
土橋洋一〔会員〕
永吉昭浩〔会員〕

●委任欠席(カッコン内→代理人)
竹島 巍(大村)
藤川正美
日野 高(秋元)
甲斐光省(秋元)
大野美菜子

常任出席者 9名
委任欠席者 5名
定足数成立

●議事進行
議長・進行:松岡和彦

●議事録
書記:大村政幸
校正・制作・文責:
大村政幸・秋元圭一

■議題

1. 卒業制作展・同窓会賞について
卒業式後のパーティに関して
2. セミナープロジェクトの予定
3. 名簿の取りまとめの状況
4. 意見交換

議題1 名簿のとりまとめの状況

名簿委員の小山氏は、参加者について2003年度と比較したグラフを参照しながら、名簿取りまとめ状況と2008年度総会&パーティーの報告をした。「今回の総会での出欠ハガキと当日参加者の名簿の変更、修正が完了した。出席欠席ともに回答数が増えた。ポイントとしては会員数が増えたので当然だが、案内を出した3,272通(前回3,000通)に対する回答が663名(前回511名)あり、反応率は増えている事がわかった。出席者は202名(前回150名)でした。年代別で見ると80年代が出欠とも一番多かった。2000年代の方の出席も高かった。幹事さんに事前に名簿の修正を依頼した事も起因となったと思う。気になったのが住所不明の方で届いていたら来たという意見があったようで、住所変更の届出方法を同窓会ニュースやホームページを駆使してアナウンスしていた方が良かったと感じた。反応率が上がったのはFAX展やセミナーも続いてきて同窓会の活動が目についたということだと思うので、そういう企画を続けていくのが良かったと感じた。提案の域ではあるが、出席のすくなかった60~70年代の方を対象に、小規模でもパーティーのようなものを開催し寄付を募るなどしてはどうかと思う。また、FAX展のような企画を行うことで若い年代を掴めないかな、とも思う」以上が出席者に関するまとめ。続いて広報と名簿管理ですが、広報の案内状作成に関しては回答率が高かったことから問題なかったと思います。絵柄も「久しぶり」というストレートな表現で楽しくできたのではと思う。名簿管理は今回綺麗に直ったので今後1、2年かけてフォーマットを直していこうと思う。今回協力頂いた幹事の方に自分の学年の名簿を2~3月に送れたらと思う。また、会員の方が名簿を必要とした時、有償・無償は別として、その学年の幹事さん経由での提供を検討してはどうだろうかと思う。現状だと集めるだけ集めて出さないという傾向があるのでなんとかできないかという提案です。これを受けて西田氏は「いずれにせよ少ないパーセンテージなので、次回は少なくとも10%位の参加を目標にできると良い」と述べ、小山氏は「回答率を最終的には25%まで持ってゆければ良いのでは」と答えた。松岡氏の「会場に置いたQRコードからの反応はどうだったか」という質問に、小山氏は「今回はなかったが名簿変更の手段として、良い方向のひとつだと思う」と答えた。西田氏が「先程の60、70年代を10年ごとに区切って小さなパーティー行ってはという話について、どのようにやれば良いのかが気になります。若い方がお膳立てをしてくれてそれに参加すればよいのか、自分たちですすめるのか?」それについて小山氏は「あくまでもその年代の方に中心になってもらい、それをみんなでサポートしていくように考えたのですが」と答えた。西田氏は「それならば学校で行って理事長もお呼びして今の学校の状況なども話してもらうということも考えられますね」と話した。また、系列学校の中学生から同窓生にクリスマスカードが送られるような趣向を凝らしているところもあるなどの例を挙げ、今後の活動の参考になればと話した。

議題2 卒業制作展・同窓会賞、および卒業式後のパーティーについて

渡部氏から「卒業制作展に関して、今年度は同じ会場で同じ時期にまとまります。従って、昨年までの先生からの推薦ではなく、同窓生の投票により同窓会賞を決めたいと考え、学校にも了承をもらいました(学校の賞とダブった場合は次点の作品に同窓会賞を贈るように考えている)。観に来てくれた同窓生に案内と投票用紙を受付で渡し、投票してもらう。得票の多い作品、各科合わせて7名を選び、ホームページで投票結果を発表し作品も見られるようにしたいと思います」と話があり、これに対して同窓生に対する告知やアナウンス、投票の仕方、発表の仕方、投票してくれた同窓生へのプレゼントなど、今後も続けて行う時には色々検討を行うこととした。卒業式後のパーティは同窓会が費用を出しますが、今回は学校側が準備してくれるそうです。

議題3 セミナープロジェクトの予定

会長から確認のためですが「当初セミナーを2回行うとありましたが秋には総会パーティーがあり、そちらに力を注ぐということで今年度は1回ということですか?」と話し、西田氏が「そう考えていました」と答えた。さらにセミナーに関しての意見交換で、会長が「今年の5月開催の時はアナウンス期間が短く、少しばたついた印象だった」と語り、西田氏から「5・6月だと告知する手段がないので10・11月に集中する方が同窓会ニュースで告知でき効果的だと考えていた」と話した。

議題4 意見交換

会長から「次回は3月になりますので、各委員会は決算のための支出データを用意しておいてください。また予算案作成のための活動計画を金額を含めて出してください」とあった。

西田氏から「現在、WEBに載せている組織図が的確でないと思うので、別紙のように提案させてください」とあり、今の組織図は常任幹事会を表現しているため、西田氏が示す同窓会全体を表すものに替えることとした。それに関連して、「会則の表現を少し手直しし、さらに誤字が幾つかありますのでそれも含めて最終見直しをし会則を整えたいと思います」と西田氏は締めた。その後、WEBのデザインを変更したこと、インフォメーションに常任幹事会のお知らせと参加を募ることが伝えられた。また、名簿を整理するにあたって本科と研究科とのだぶりをどう扱うか、科の名称変更による区分けが増えていくことでの処理、卒業生と職員のだぶりをどう表現して区分けしていくのか。同窓会が作られた時の区分けを元にデータを管理しているが、そこも含めて考えなければならない。学校とも相談していこうと思う。などの意見が出た。

次回日程:2009年3月28日(土)の15:00~17:00ということを確認して会議は閉会した。